取扱説明書	NR－816RF－RSA＜GT－162AR＞ NR－824RF－RSA＜GT－242AR＞	741 741	3581 1582	13011

取扱説明書

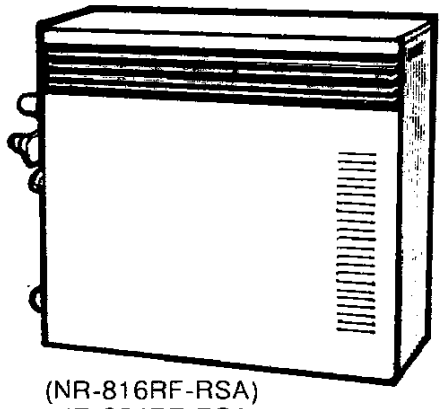
保証書付

型式名	GT-162AR GT-242AR

品名	NR-816RF-RSA 機器コード 741 3581 NR-824RF-RSA 機器コード 741 1582	風呂給湯器

このたびは風呂給湯器をお買い上げくださいましてありがとうございました。

- ご使用になる前にこの取扱説明書をお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書の38ページが保証書になっています。内容をよくご確認のうえ、大切に保存してください。



(NR-816RF-RSA)
(NR-824RF-RSA)

目次

	ページ		ページ
機能と特長	1	故障かな？と思ったら	33
各部の名称とはたらき	3	アフターサービス	36
操作のしかた	8	長期間使用しない場合	36
使用上のご注意	30	仕様	37
日常点検・手入れのしかた	32	保証書	38

TOKYO GAS

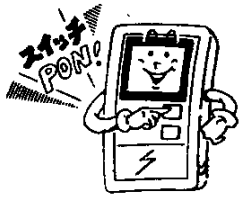
SHA8192

機能と特長

1．給湯もふろ沸かしもこれ1台でOKです。

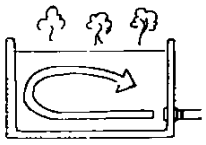
パワフルな16号給湯器(NR-816RF-RSA),24号給湯器(NR-824RF-RSA)とふろ釜を一体にした1台で2役の風呂給湯器です。

2．スイッチポンでおふろが沸かせます。



ふたをして「自動」スイッチを押せば、あらかじめ決めておいた湯温、湯量で沸きあがります。
13ページをごらんください。

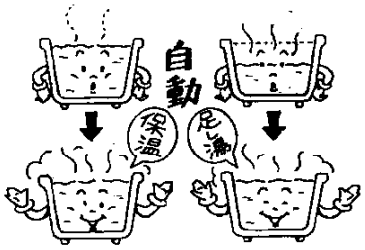
3．上下の温度差がありません。



浴そうのお湯はポンプによって循環しているので均一に沸き上がり、かきまわす必要がありません。

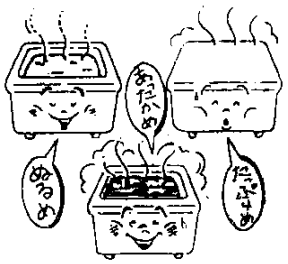
4．湯温と湯量のみはりは器具におまかせ。

「自動」スイッチを押しておけば、4時間以内ならお湯が冷めれば自動で保温、お湯が減れば自動で足し湯します。
たとえばお子様とご主人の入浴時間があいても、湯かげんを気にせず、すぐに入浴できます。
13ページをごらんください。



5．気分にあわせて湯かげんを…。

ちょっと「ぬるめ」、「あったか」、「たっぷり」のおふろにしたいとき、あらかじめ決めておいた湯温、湯量を変えずにスイッチひとつで簡単にできます。
20ページをごらんください。



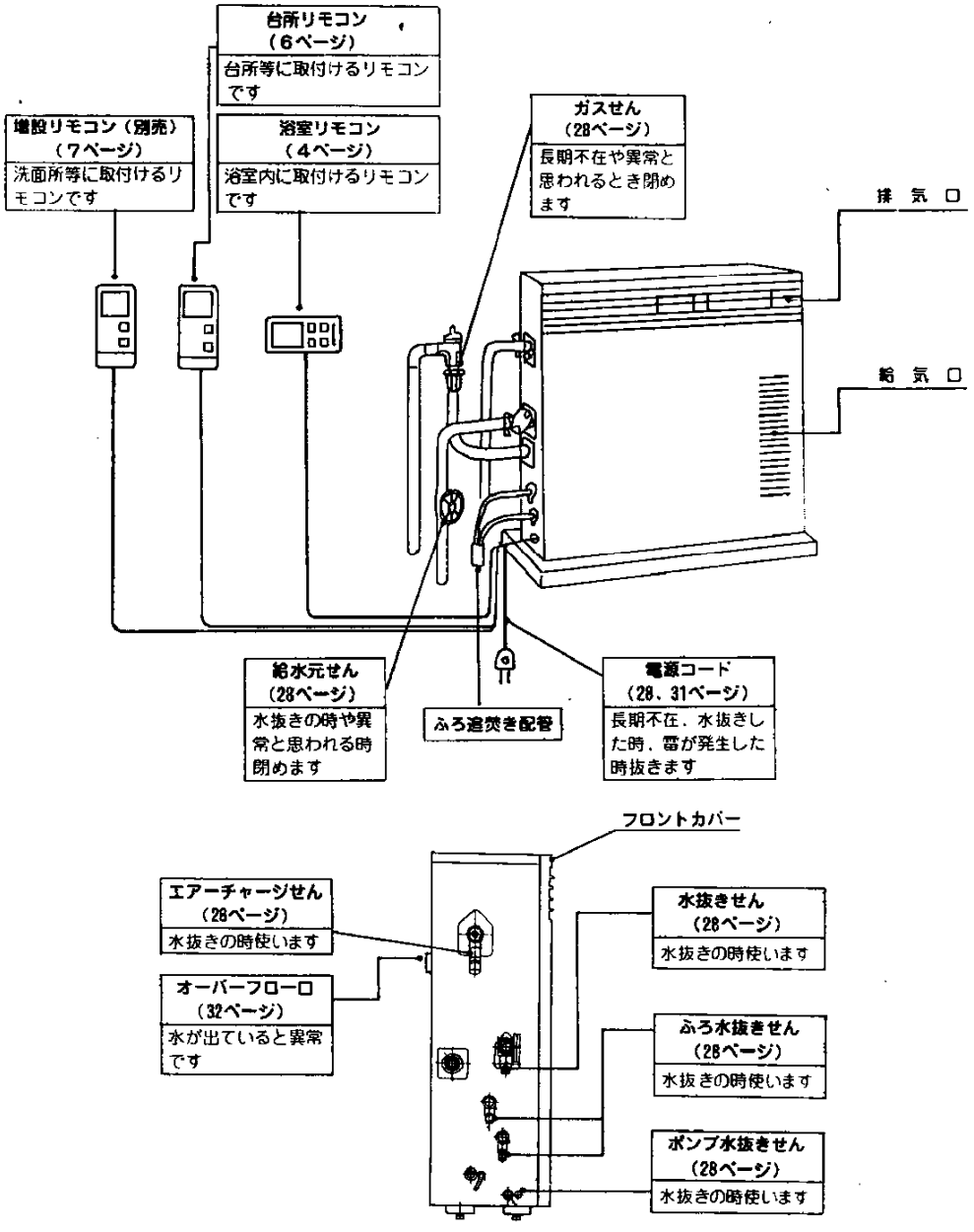
6．お好きな時間におふろが沸かせる（または沸かし上げておくことができる）予約タイマーがついています。

24ページをごらんください。

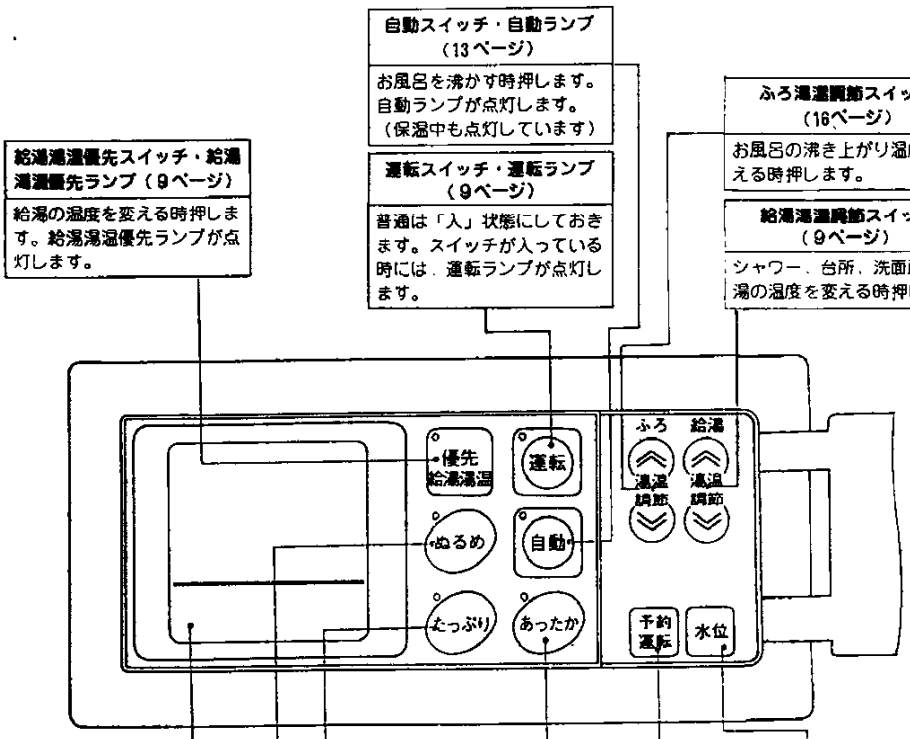
7．厳冬期、気温が下がると自動的に作動し凍結を予防するヒーターが組み込まれています。

各部の名称とはたらき

機器本体



浴室リモコン〈浴室内に取り付けるリモコンRC－2003S〉



自動スイッチ・自動ランプ（13ページ）
お風呂を沸かす時押します。自動ランプが点灯します。（保温中も点灯しています）

運転スイッチ・運転ランプ（9ページ）
普通は「入」状態にしておきます。スイッチが入っている時には、運転ランプが点灯します。

給湯湯温優先スイッチ・給湯湯温優先ランプ（9ページ）
給湯の温度を変える時押します。給湯湯温優先ランプが点灯します。

ふろ湯温調節スイッチ（16ページ）
お風呂の沸き上がり温度を変える時押します。

給湯湯温調節スイッチ（9ページ）
シャワー、台所、洗面所のお湯の温度を変える時押します。

表示画面
湯かげんや時間などをデジタルで表示します。

ぬるめスイッチ・ぬるめランプ（20ページ）
設定した湯かげんより、ちょっと「ぬるめ」にしたい時に押します。
ぬるめランプが点灯します。

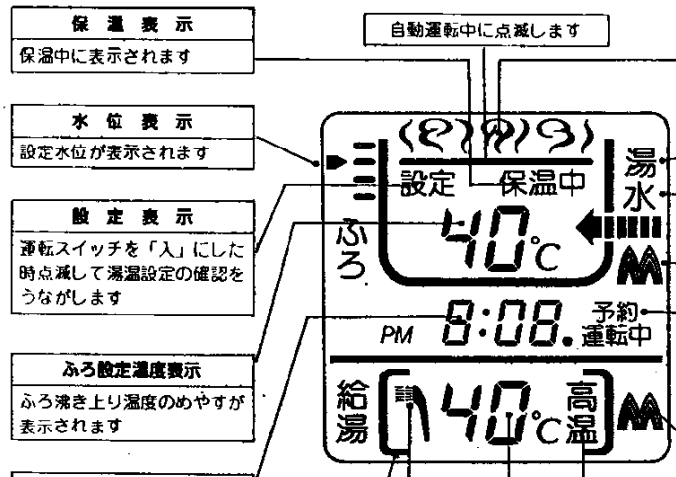
あったかスイッチ・あったかランプ（21ページ）
設定した湯かげんより、ちょっと「あったかめ」にしたい時に押します。
あったかランプが点灯します。

たっぷりスイッチ・たっぷりランプ（21ページ）
設定したお湯の量よりも少し多めのお湯につかりたい時に押します。
たっぷりランプが点灯します。

水位スイッチ（15ページ）
お風呂のお湯の水位を変える時押します。

予約運転スイッチ（24ページ）
「予約」でお風呂を沸かす時押します。

画面表示《浴室リモコン、台所リモコン、増設リモコンとも共通です》



保温表示
保温中に表示されます

自動運転中に点滅します

あったか運転中、保温運転中に表示します

水位表示
設定水位が表示されます

注湯表示
"たっぷり"お湯張り時に表示されます

設定表示
運転スイッチを「入」にした時点滅して湯温設定の確認をうながします

注水表示
ぬるめ運転中に表示されます

ふろ燃焼表示
ふろを沸かしている時に表示されます

ふろ設定温度表示
ふろ沸き上り温度のめやすが表示されます

予約運転表示
予約した時に表示されます

給湯燃焼表示
給湯が燃焼している時に表示されます

時刻表示
現在時刻と予約時刻を表示します

故障モード表示(34ページ)
機器に異常が有った場合は時刻表示が故障モード表示に変わります

給湯湯温優先表示
この表示のあるリモコンで設定温度が変えられます
この表示のあるリモコンの設定温度が他のリモコンに表示されます

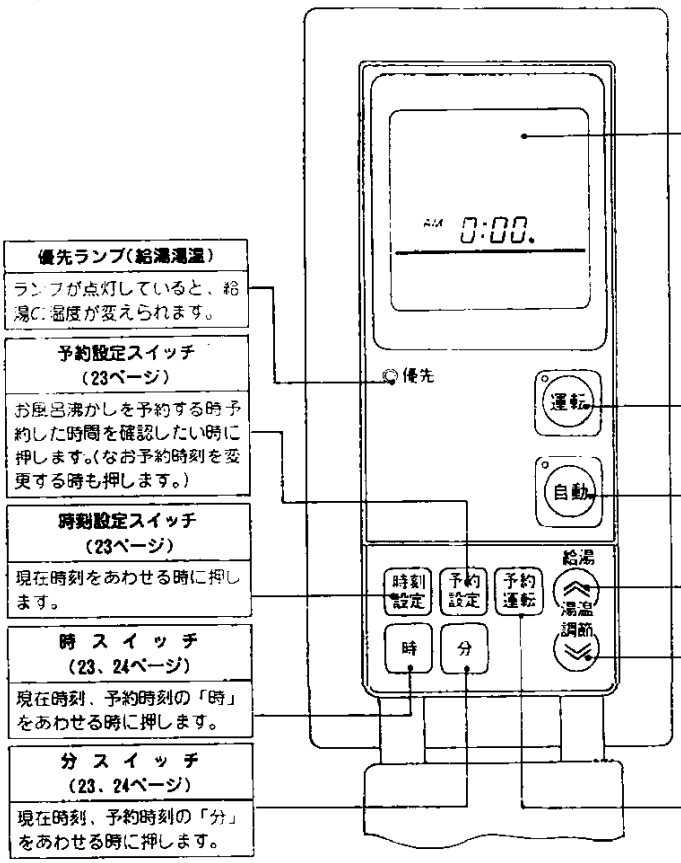
高温表示
60℃、75℃、の時に表示されます

シャワー適温表示
39℃、40℃、41℃、42℃、43℃、の時に表示されます

給湯設定温度表示
給湯温度のめやすが表示されます

●上記表示は説明のため全部表示した図になっていますが
実際は該当部分だけを表示します。

台所リモコン（台所などに取り付ける・リモコンRC－2003M）



表示画面
水がいくら・時間などをデジタルで表示します。

運転スイッチ・運転ランプ
普通は「入」状態にしておきます。スイッチが入っている時には、運転ランプが点灯します。

優先ランプ（給湯湯温）
ランプが点灯していると、給湯の温度が変えられます。

予約設定スイッチ
（23ページ）
お風呂沸かしを予約する時予約した時間を確認したい時に押します。（なお予約時刻を変更する時も押します。）

自動スイッチ・自動ランプ
お風呂を沸かすとき押します。自動ランプが点灯します。
保温中も点灯しています。

時刻設定スイッチ
（23ページ）
現在時刻をあわせる時に押します。

給湯湯温調節スイッチ
シャワー、台所、洗面所のお湯の温度を変える時押します。

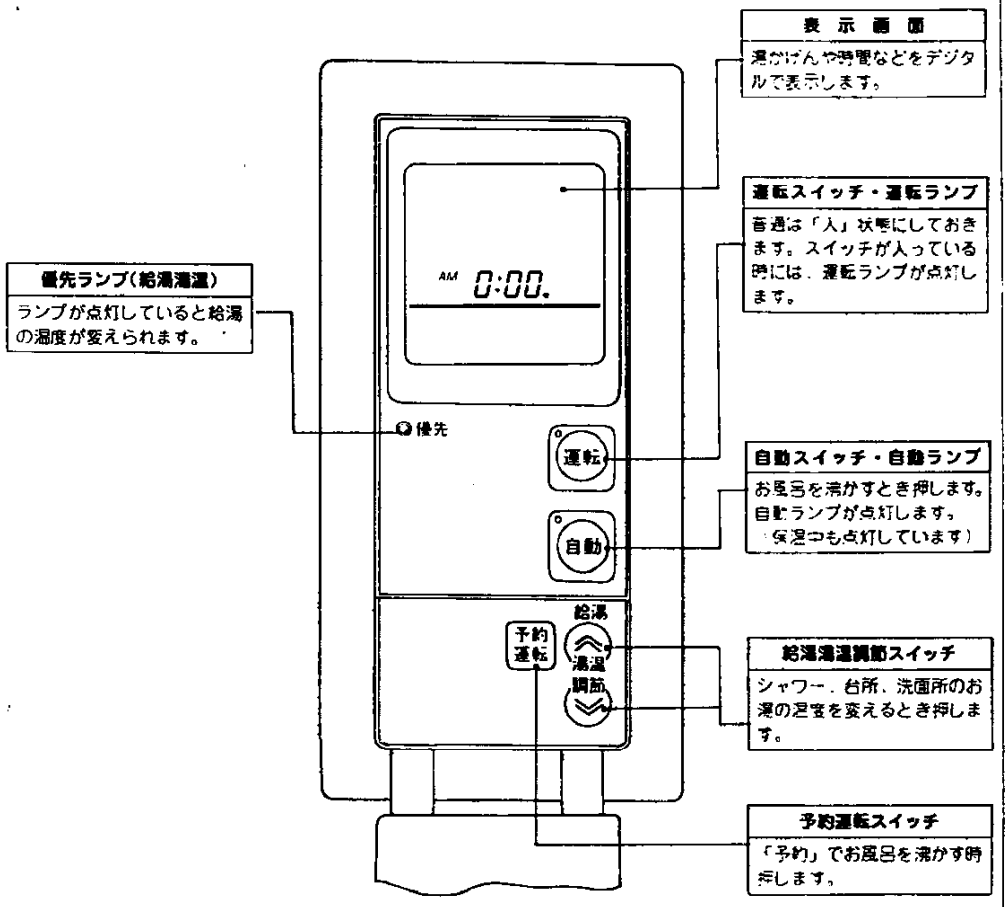
時スイッチ
（23、24ページ）
現在時刻、予約時刻の「時」をあわせる時に押します。

分スイッチ
（23、24ページ）
現在時刻、予約時刻の「分」をあわせる時に押します。

予約運転スイッチ
「予約」でお風呂を沸かす時押します。

●浴室リモコン、台所リモコン及び増設リモコンで同じ呼称のスイッチ、ランプ類はそれぞれはたらきと操作方法も共通です。

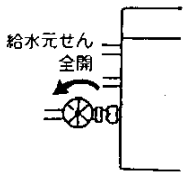
増設リモコン(洗面所・リビングなどに取り付けるリモコンRC－2003A) 別売品)



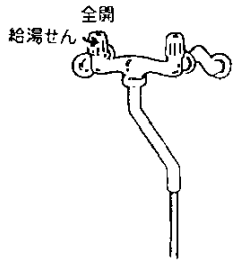
操作のしかた

初めてお使いになるときは、まず…

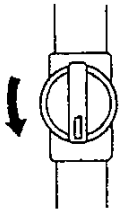
① 給水元せん（機器の側面）を全開にします。



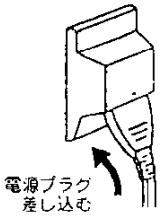
② 給湯せんを開け、水の出ることを確認してから閉めます。



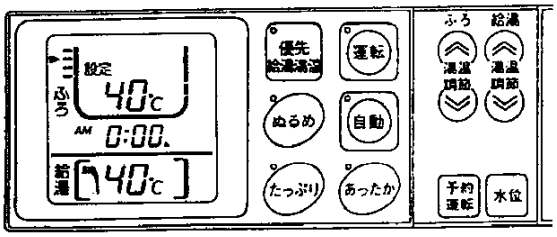
③ ガスせん（機器の側方にあります）を全開にします。



④ 電源プラグ（機器の周辺にあります）を差し込みます。



⑤ 「運転」スイッチを押し「入」状態にします。
- 運転ランプが点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。



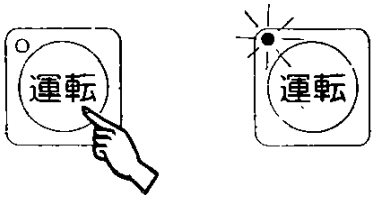
お買い上げいただいた時には、お湯の温度は40℃に設定してあります。

お湯をお使いのときは

■ 給　湯

1．「運転ランプ」が点灯していることを確かめます。

- 「運転ランプ」が点灯していない場合は、「運転スイッチ」を押します。
- 「運転ランプ」が点灯します。



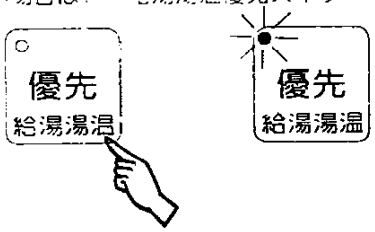
2．給湯の温度調節をします。

浴室リモコン、台所リモコン及び増設リモコン（別売）いずれからでも調整ができます。

《浴室リモコンで温度調節をする場合》

(1)　「給湯湯温優先ランプ」の点灯を確かめます。

- 「給湯湯温優先ランプ」が点灯していない場合は、「給湯湯温優先スイッチ」を押します。
- 「給湯湯温優先ランプ」が点灯します。



(2)　給湯温度をお好みの温度にセットします。

- 浴室リモコンのふたを開け、表示画面の給湯温度表示を見ながら「給湯湯温調節スイッチ」を押します。

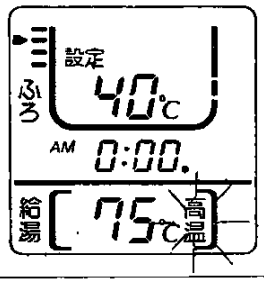
  ⌒ を押すと高く、⌣ を押すと低くなります。

温度調節のできる範囲は38～46℃（1度押すと1℃ずつ変わります）と50，60および75℃です。

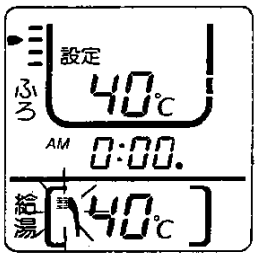
ご注意

- **表示している温度と給湯温度は配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。目安としてお使いください。**

60℃、75℃の時は 高温 という文字が点滅して注意を促します。
（シャワー使用中湯温を変えるとやけど等非常に危険です。）



●39℃～43℃の間の温度にセットすると、シャワー適温範囲として「 」のマークを表示します。



《台所リモコン、増設リモコン(別売)で温度調節をする場合》

(1) 台所(サブ)リモコンの「運転スイッチ」を押し、いったん切にします。
- 「運転ランプ」が消灯します。

(2) 再度「運転スイッチ」を押し入にします。
- 「運転ランプ」、「優先ランプ」が点灯します。

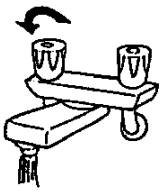
(3) 給湯温度をお好みの温度にセットします。
- 台所(増設)リモコンのフタを開け「給湯湯温調節スイッチ」を押します。
- 操作は9ページの浴室リモコンと同じ方法で行ないます。

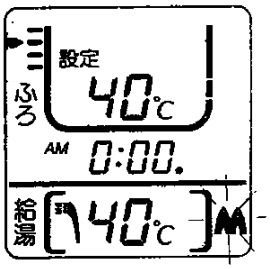
ご注意
- ほかの場所でお湯を使っている場合は変更しないでください。

3．給湯せんを開けます。

●表示画面の給湯部に（ M ）を表示します。
●しばらくしてお湯がでます。
（お湯の出る迄の時間は配管長さにより変わります。）

給湯せんをあける



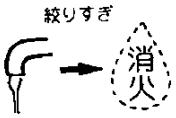


ご注意

●はじめてご使用になるときなどは、配管中に空気が入っていて点火しないことがあります。
このときはお湯が出ず（ M ）表示も出ません。
このような場合は給湯せんを閉じ、給湯せんを開ける操作を２～３回繰り返してください。

●出湯停止後、すぐに再出湯したときは一度、湯温が下がることがありますのでご注意ください。

●給湯せんを絞りすぎる（約3.0ℓ/min以下）と熱いお湯が出たり、消火することがあります。

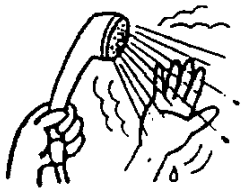


●使いはじめは給湯配管の水を追い出す迄しばらくお湯は出ません。
（配管長さにより、お湯が出るまでの時間が異なります。）

●給湯せんで湯量をしぼっていくと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、湯が白くなることがありますが、空気ですので心配はありません。

● 2ヶ所で同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなることがあります。
特に、シャワー使用中は同時使用は避けてください。

●シャワーをご使用のときは、いきなり体や頭にはかけずに、手で湯温を確認してからお使いください。
シャワーをお使いになってお湯を止めた直後再度お使いになるときや、湯量を急に絞ったときには一瞬熱い湯が出ることがあります。

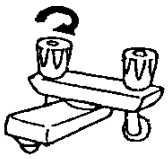


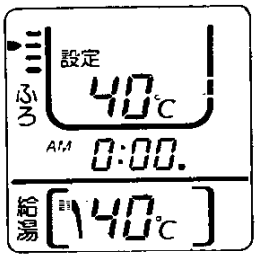
●夏期水温が30℃近くになりますと、低温にセットしても湯量が少ない場合には湯温が熱くなります。
このような場合には、給湯せんをさらに開けて湯量を多く出すか、水と混合してお使いください。

■ 給湯停止

1．給湯せんを閉めます。

●お湯が止まると表示画面の給湯部の（ M ）が消灯します。
●表示画面は右図のように表示します。
（給湯湯温40℃セットの場合の例）





2．「運転スイッチ」はそのまま「入」にしておきます。

●通常「入」のままで「切」にする必要はありません。
次回お使いのとき（湯温が同じでよい場合）そのまま給湯せんの開閉のみの操作でき便利です。

ご注意

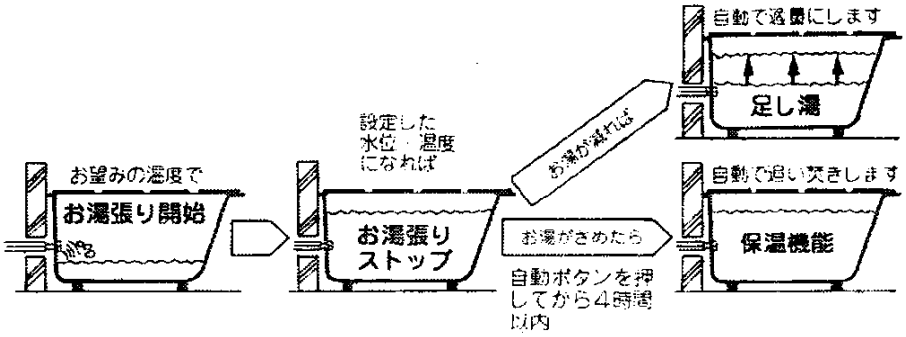
●給湯湯温は「優先ランプ」の点灯しているリモコンでセットした温度になります。しばらくしてお使いのときはセット温度がお好みの湯温になっているか確認してからお使いください。

お風呂を沸かすときは

■ 風呂自動運転

自動運転とは

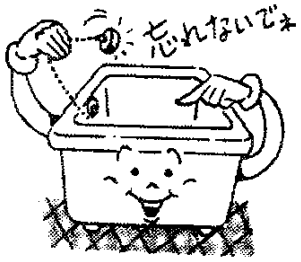
自動スイッチを押すと次の動作を機器が自動で行います。



1．運転前の準備をします。

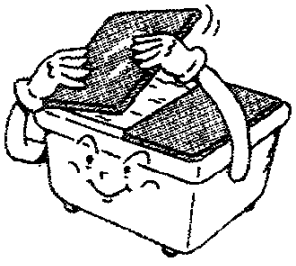
(1) **排水せんを閉じます。**

●おふろを沸かす前に必ず、排水せんを閉じます。



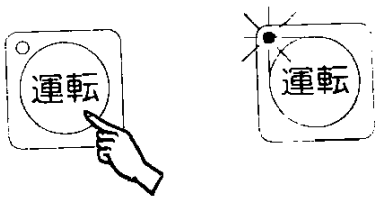
(2) **浴槽にふたをします。**

●この機器は浴槽にふたをしたまま、お湯張りができます。



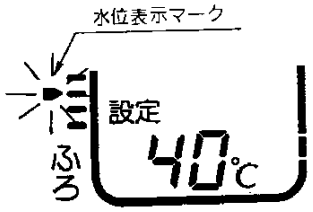
2．「運転ランプ」が点灯していることを確かめます。

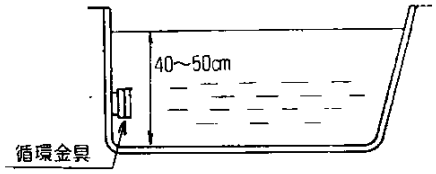
- 「運転ランプ」が点灯していない場合は、「運転スイッチ」を押します。
- 「運転ランプ」が点灯します。



3．おふろの水位をお好みの位置にセットします。

- お買い上げいただいた時には、水位表示マークが下から3番目の目盛りにセットしてあります。
  この目盛り位置にあるときの浴槽の水位は、浴槽の大きさによって若干異なりますが1.5人用浴槽では、浴そうの底から40～50cmの位置になります。





(1) その水位がお好みの位置であればそのままにします。

(2) 浴槽の水位を変えるときは、浴室リモコンのふたを開け、水位表示マークを見ながら「水位スイッチ」を押します。

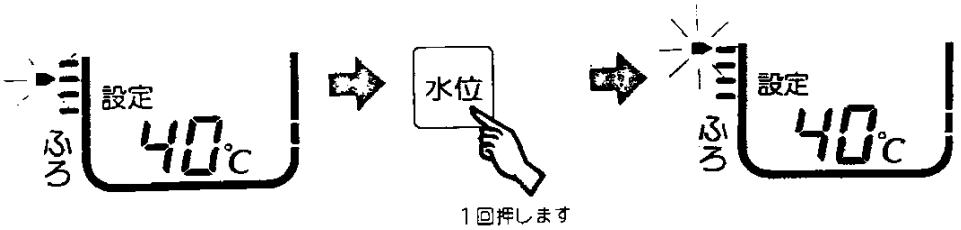
●浴槽の水位変化は水位表示マークを1目盛り上げると水位は約5cm増量し、1目盛り下げると約5cm減量します。
●水位表示マークの移動は、「水位スイッチ」を1回押すごとに上の目盛りに1つずつ変わり、最上目盛りのとき押すと最下目盛りに移ります。以下これを繰り返します。
●お好みの位置に移動するまで繰り返し「水位スイッチ」を押します。
●最上目盛り以上の水位の増量、最下目盛り以下の減量はできません。

ご注意

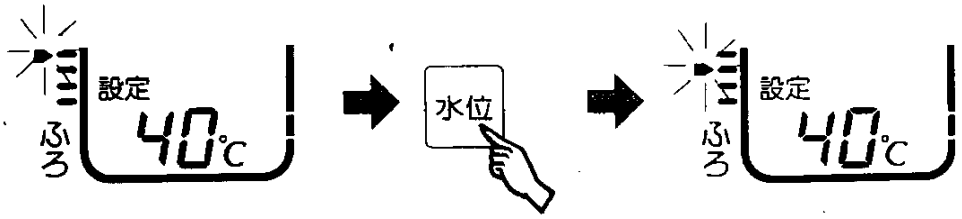
●水位スイッチを押す前に水位表示マークの目盛り位置を覚えておくと誤った水位設定を防げます。
●停電後は自動的に下から3番目の位置に戻ります。再度セットしなおしてください。
●台所リモコン、増設リモコン（別売）では水位設定ができません。

「水位の変更例」

ケース1．水位表示マークが下から3番目にあって、浴槽水位を5cm増量したいとき……「水位スイッチ」を1回押します。



ケース2．水位表示マークが最上目盛りにあって浴槽水位を5㎝減量したいとき……「水位スイッチ」を3回押します。



3回押します

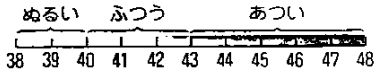
4．おふろの沸き上げ温度をお好みの温度にセットします。

●お買い上げいただいた時には、沸き上げ温度を40℃にセットしてあります。

(1) 入浴温度が40℃で適温の方はそのままにします。

(2) 入浴温度を変えるときは、浴室リモコンのふたを開け、表示画面のふろ設定温度表示を見ながら「ふろ湯温調節スイッチ」を押します。

- ⌒ を押すと高く、⌣ を押すと低くなります。
- 1度押すと1℃ずつ変わります。
- 温度調節の出来る範囲は38℃～48℃です。



入浴温度のめやす

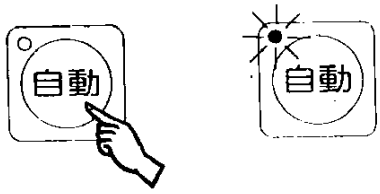
ご注意

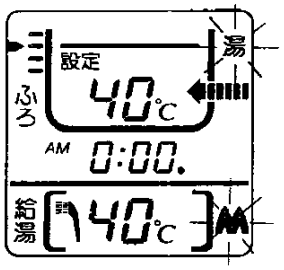
- ●表示している温度と沸き上がり温度は配管長さ等により、必ずしも一致しません。目安としてお使いください。
- ●停電後は自動的に40℃に戻ります。
  再度セットしなおしてください。
- ●台所リモコン、増設リモコン(別売)では、ふろ湯温の変更はできません。

5．「自動スイッチ」を押します。

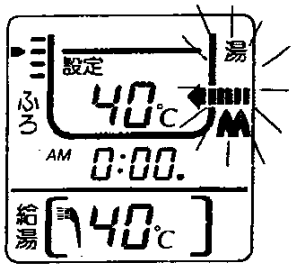
(1) **「自動ランプ」が点灯し自動的にお湯張り、沸き上げをおこないます。**

- ●表示画面は図のように表示します。
- ●しばらくして、おふろの循環口からお湯が出てきます。
  （このお湯の温度はふろ沸き上げ温度の設定温度で出ます。）



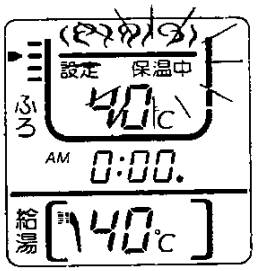


- ●おふろの設定水位までお湯張りしますと自動的に循環口から出ていたお湯が止まり、その後おふろのお湯を循環し沸かしあげます。
  表示画面は図のようになります。



(2) **ふろ設定温度まで沸き上がりますと自動的に保温にはいります。**

- ●表示画面は図のようになります。
- ●10秒間「ピーピー」と鳴り沸き上がりをお知らせします。
  これでいつでも入浴ができます。
- ●「自動ランプ」は保温中点灯しています。
- ●保温中は30分ごとにポンプがまわり、湯温を検知し湯温が下がっていると自動的に設定温度まで沸かし上げます。
  また湯量が設定水位より5cm以上減ると自動的に循環金具からお湯がでて、設定水位まで足し湯します。
- ●保温持続時間は「自動スイッチ」を押した時から約4時間です。



ご注意

- ●自動運転のお湯張り中に給湯（台所等）を使用しますと、ふろ設定温度のお湯が出ます。
- ●自動お湯張り中、循環金具から出ているお湯が、出たり止まったりしますが、これはふろの水位を検知しているためで、故障ではありません。
- ●保温中で足し湯がおこなわれている場合、給湯（台所等で）を使用しますと、足し湯が一時停止します。給湯の使用が終ると自動的に、足し湯が再開されます。

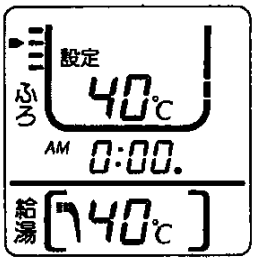
■ 沸かし直し

- ●前日までの残り湯を沸かし直したいときは、「自動運転」とまったく同じ手順を行います。
  設定水位より湯量が減っている場合は、設定した水位まで足し湯したうえで設定温度に沸かしあげます。

■ 風呂自動運転停止、保温停止

1．自動運転を途中で止めたいときは、再度「自動スイッチ」を押します。

●「自動ランプ」が消灯し、表示画面は図のようになります。



2．保温を途中で止めたいときも、再度「自動スイッチ」を押します。

●表示は1とおなじです。

■「ぬるめ」、「あったか」、「たっぷり」の運転

「ぬるめ」とは

スイッチひとつでおふろへ水を10リットル注水し「ぬるめ」のおふろが楽しめます。

例．冬　（水温5℃、浴槽湯量 180ℓ、浴槽湯温43℃のとき）
浴槽温度が約2℃さがります。

夏　（水温25℃、浴槽湯量 180ℓ、浴槽湯温43℃のとき）
浴槽温度が約1℃さがります。

「あったか」とは

スイッチひとつでふろ設定温度より約2℃おふろの温度を高め「ちょっとあったかめ」のおふろが楽しめます。

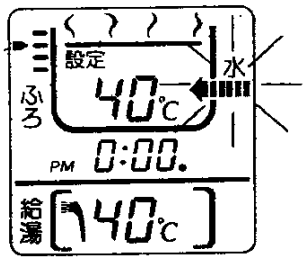
「たっぷり」とは

スイッチひとつでおふろへお湯を20リットル注湯し「たっぷりめ」のおふろが楽しめます。

●各運転とも保温中又は自動運転停止の状態のときに各スイッチを操作すると運転状態になります。
自動運転の注湯中および沸き上げ中にスイッチを操作しても運転状態には入りません。

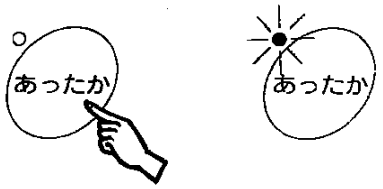
1．「ぬるめ」運転

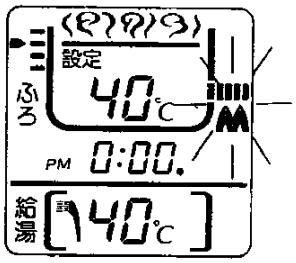
●「ぬるめスイッチ」を押します。
●「ぬるめランプ」が点灯します。
●表示画面は図のように表示します。
●おふろに水が10リットル注水されますと
自動的に止まり、ランプも消灯します。



2.「あったか」運転

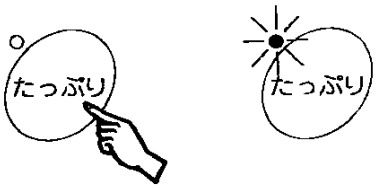
- 「あったかスイッチ」を押します。
- 「あったかランプ」が点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。
- ふろ設定温度より2℃温度を高め自動的にとまり、ランプも消灯します。

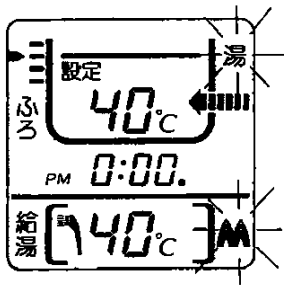




3.「たっぷり」運転

- 「たっぷりスイッチ」を押します。
- 「たっぷりランプ」が点灯します。
- 表示画面は図のように表示します。
- おふろにお湯が20リットル給湯されますと自動的に止まり、ランプも消灯します。





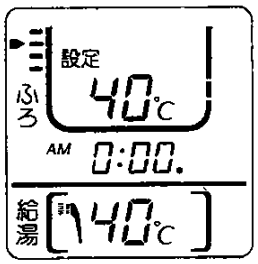
ご注意

- 各スイッチを押すまえに、おふろのお湯が入っていることを確認してください。
- 「ぬるめ」運転は給湯（シャワー等）使用中は使用できません。
- 「ぬるめ」運転中に給湯（シャワー等）を使用しますとその時点で「ぬるめ」運転は停止しぬるめランプは消灯します。
- 各運転終了後はおふろのかくはんのため、ポンプが約30秒間回ります。

4．各運転の停止

「ぬるめ」、「あったか」、「たっぷり」運転とも途中で止めたいときは、再度それぞれのスイッチを押します。

- それぞれのランプが消灯します。
- 表示画面は図のようになります。



■時計合わせのしかた

1．「時刻設定スイッチ」を押します。

- 台所リモコンのふたを開け，「時刻設定スイッチ」を押します。
- 表示画面のAM 0 ：00 時刻表示が点滅します。

2．現在時刻を合わせます。

- 「時」スイッチを押し，現在時刻の「時」を合わせます。
  次に「分」スイッチを押し「分」を合わせます。
- スイッチを押し続けますと，連続的に数字が変わります。
- AM，PMの表示を確認します。
  AM，PMが逆のときは変わるまで「時」スイッチを押し続けます。
  右は午前10時15分の例です。

3．セットします。

- 「時刻設定スイッチ」を再度押します。
- 表示画面の時刻の点滅が10秒後に自動的に止まりセット完了です。

ご注意

- 停電後は 0 ：00の表示に戻りますので再度時計を合わせる必要があります。
- 浴室リモコン、増設リモコン（別売）で現在時刻及び予約時刻セットはできません。

■おふろ沸かしの予約のしかた

おふろ沸かしの予約とは

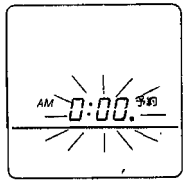
予約時刻をセットしておけばその時間になると自動的に自動運転に入り，おふろが沸かせます。

1．リモコン表示画面の現在時刻が合っているか確認します。

- 現在時刻が合っていない場合は23ページを見て合わせます。

2．予約設定スイッチを押します。

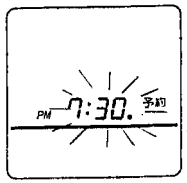
- 台所リモコンのフタを開け，予約設定スイッチを押します。
- リモコン表示画面は図のようになります。



3．予約時刻をセットします。

- 沸かし始めたい時刻を表示画面を見ながら「時」「分」スイッチを押し，表示させます。
- AM，PMを確認します。
- 「予約設定スイッチ」を押してから10秒以内に「時」スイッチを押し始めないと現在時刻に戻ります。

例、沸かし始めたい時刻が午後7時30分の場合表示画面を見ながら「時」スイッチをPM7になるまで押し続けます。
次に「分」スイッチを30になるまで押し続けます。

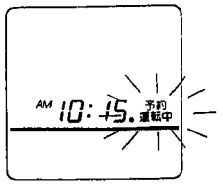


4．セットします。

- 予約設定スイッチを再度押します。
  点滅が止まりその後現在時刻に表示が変わります。
  これで予約時刻がセットされました。
- 予約時刻を確認したい場合は台所リモコンの予約設定スイッチを押すと、10秒間、表示画面に予約した時刻が表示されます。
- 予約時刻を変更したい時も10秒以内に再度1～3の操作をします。

5．予約運転の開始。

- 浴室リモコンまたは台所リモコンのふたを開け、予約運転スイッチを押します。
- 表示画面に、3秒間予約時刻と「予約」の文字が表示され、その後現在時刻に変わり、その横に「予約運転中」と表示されます。



ご注意
- 浴室リモコンでは予約設定ができません。
- 予約運転でおふろを沸かしたときは、保温・足し湯ははたらきません。
- セットした予約時刻は、沸き上がりの時刻ではありません。

冬期の凍結による破損防止について

機器が凍結すると、給湯できないばかりでなく水浸れ故障の原因になります。

この機器の凍結防止方法は次の3つのケースでやり方が変わります。
①通常のとき。
②異常寒波（マイナス15℃以下）のとき。
③長期不在のとき。

①通常のとき

給湯側

操作の手順

この機器は気温がさがってくると自動的に機器内を保温する自動凍結予防装置が組み込まれています。通常は機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。

電源プラグは絶対に抜かないでください

- 運転スイッチを切っても凍結予防装置は働きます。

ご注意
- 凍結予防装置が働くのは外気温マイナス15℃程度までですので特に寒い時や急な寒波などで寒くなりそうなときは、はやめに「異常寒波のとき」「長期不在のとき」による破損防止の処置を行なってください。
- 機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

ふろ側

操作の手順

- この機器には外気温がさがってくると自動的にポンプが運転し、凍結を予防する装置を組み込んでいます。
- 浴槽の残り湯は捨てないでそのままにしておいてください。

ご注意
- 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると動作しませんので注意してください。

②異常寒波のとき

操作の手順

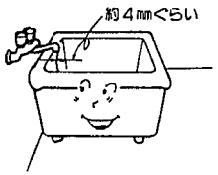
給湯側

●この場合は機器本体だけでなく、給水給湯配管、バルブ類の凍結防止もできます。

①リモコンの運転スイッチを「切」にした後再度「入」にし、さらに約10秒後に「切」にします。

②ガスせんをしめます。

③おふろ場の給湯せんをあけ1分間に400cc(牛乳ビン2本ぐらい)を浴そうに流し込みます。
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認します。



(浴そうに流し込んだ水は翌日の雑用水としてご利用ください。)

操作の手順

ふろ側

●この機器には外気温がさがってくると自動的にポンプが運転し、凍結を予防する装置を組み込んでいます。

●浴槽の残り湯は捨てないでそのままにしておいてください。

ご注意

●電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。抜けていると動作しませんので注意してください。

③長期不在のとき

操作の手順

ふろ側

長期不在等で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や電源プラグを抜く場合には、この水抜き凍結予防方法によります。次の手順でふろ側、給湯側の水抜きが完了後に電源を「切」にします。
ふろ側から先に水抜きを行ないます。

①浴槽の水を排水します。

②リモコンの運転スイッチを押し運転ランプ点灯後、あったかスイッチを押し、循環金具より水が出ることを確認.5分程そのままにします。
(2階浴室など浴槽が機器より高い位置にある場合は、ふろ水抜きせん[3][4]を左にまわしてあけた後、あったかスイッチを押し、ふろ水抜きせん[4]より水がでてくることを確認します。)

③上記の排水の完了を確認します。

④ガスせん[1]をしめます。

⑤ふろ水抜きせん[5]を左にまわしてあけます。

※ふろ側の水抜きを行なった後は浴槽に水を流し込まないでください。

給湯側

〔給湯側〕

①リモコンの運転スイッチを「切」にした後再度「入」にし、約10秒後に「切」にします。

②ガスせん[1]をしめてあるのを確認します。

③給水元せん[2]をしめます。

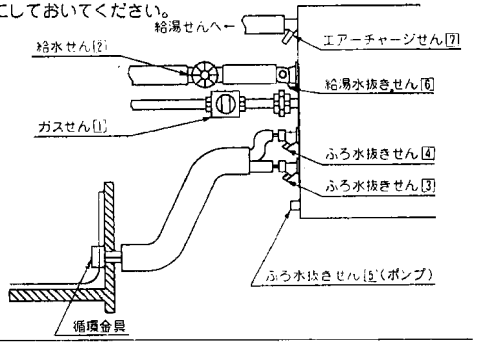
④すべての給湯せんを全開にします。

⑤給湯水抜きせん[6]を左にまわしてあけます。

⑥エアーチャージせん[7]を左にまわしてあけます。

⑦自動スイッチを「入」にし、1分後、再度自動スイッチを押し「切」にして、電源プラグを抜きます。

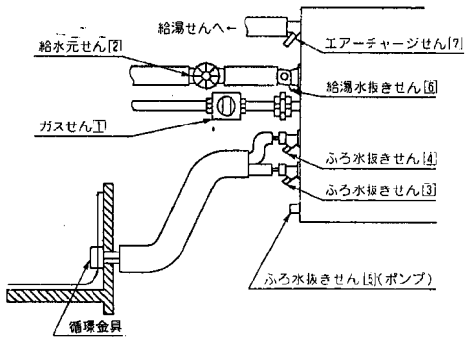
●以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。



再使用する場合

操作の手順

●再度使用されるときは、次の方法で行なってください。
※給湯側より先に行なってください。
〔給湯側〕
①給湯水抜きせん[6]、エアーチャージせん[7]およびすべての給湯せんをしめます。
②給水元せん[2]をあけてすべての給湯せんから水が出るのを確認します。
〔ふろ側〕
①ふろ水抜きせん[4]をあけ、ふろ水抜きせん[3][5]をしめます。
②ガスせん[1]をあけ、電源プラグをコンセントに差し込みます。
③リモコンの自動スイッチを「入」にし、しばらくしてふろ水抜きせん[4]より水が出てくることを確認します。
④ふろ水抜きせん[4]をしめ、リモコンの自動スイッチを「切」にします。
●以上の操作を行なってからご使用ください。

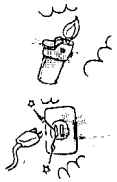


凍結したときは

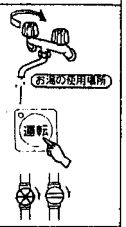
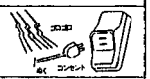
●凍結した場合，ガス栓・給水元栓を閉めてください。凍結したまま運転操作をしますと器具に異常が生じる場合があります。凍結がとけたことの確認は運転スイッチを「切」の状態で給湯せんを開き水が出て来ることをたしかめます。
●凍結がとけたあと，水漏れがないことを確認のうえご使用ください。
●器具や配管が破損しますと，高額の修理費用がかかる場合があります。（有料）

使用上のご注意

使用上注意していただきたいこと

使用ガス・使用電源についてのご注意	●この機器は都市ガス用です。都市ガス12A・13A以外のガスでは使用しないでください。 ●銘板に表示してある電源（電圧・周波数）以外の電源では使用しないでください。	 銘板
用途についてのご注意	●台所・シャワー・洗面などの給湯，風呂沸かし以外の用途には使用しないでください。	
市販の補助用具についてのご注意	●この機器の純正部品以外は使用しないでください。（不完全燃焼の原因となります。） ●混合水せんをご使用になる場合は出口が絞られていないもの（瞬間湯沸器用混合水せん）を選定してください。水圧の低い地域では泡沫水せんを使用しないでください。	
火災予防	●機器の上や，周囲には燃えやすいものを置かないでください。特に排気部は洗たく物などでおおわないでください。	
やけどのご注意	●使用中および消火直後は，排気部やその周囲が高温になっていますので，絶対に手をふれないでください。	
ガス事故防止	●ガス漏れに気づいたときは，すぐ使用をやめてガス元せんをしめ，お買い上げになった販売店又は最寄りの東京ガス事業所にご連絡ください。係員が処置するまでには，絶対に火をつけたり，電源プラグの抜き差しや，近くの電気器具の「入・切」をしないでください。	
入浴時のご注意	●浴そうの循環金具をタオル等でふさぎますと循環不良となり，お風呂沸しはできません。	

使用上注意していただきたいこと

健浴剤についてのご注意	●硫黄、酸、アルカリをきんだ健浴剤や洗剤は、風呂釜が腐食する原因となりますので使用しないでください。	
異常時の処理	●万一、異常燃焼(メーンバーナー着火時や使用中に"ゴー"と音のするような燃焼)をおこしたときや、緊急の場合には、次の処置をし、お買い上げになった販売店又は最寄りの東京ガス事業所にご連絡ください。 (1)給湯せんをしめる。 (2)運転スイッチを「切」にする。 (3)給水元せん・ガスせんをしめる。 (4)お求めの販売店または最寄りの東京ガスへ連絡する。	
水の使用についてのご注意	●機器内に長時間たまった水は飲用または調理に用いないでください。雑用水としてご使用ください。	
電源が切った後、機器が作動しない時	●落雷の際、機器内の漏電安全装置が作動し(漏電時も)通電しなくなりますので、電源プラグをいったんコンセントから抜き、再度差し込んでください。リモコンのセットのしなおしが必要です。	
電源が発生しているときのご注意	●激しい雷により、一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。電源プラグをコンセントから抜いておきますと損傷を防止できます。	
転居されるとき	●転居される場合は、転居先のガス事業者または販売店にご相談ください。 ●機器(銘板)に表示してあるガス、電源(電圧・周波数)以外の種類の異なる地域へ転居される場合には、改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。	
停電時の処置	●停電時は給湯栓を閉めてください。停電中は使うことが出来ません。 ●再通電したときは、リモコンのふろセット温度・ふろセット水位(量)・給湯セット温度・現時刻・予約時刻がお買いあげいただいた初期の状態に戻ります。セットしなおしてください。 ●電源プラグをコンセントから抜いたときも同様です。	
出湯についてのご注意	●湯量を絞りすぎますと、熱い湯になったり消火しお湯になりません。 ●シャワーを使用されるときは、手で湯温を確認してからお使いください。 ●台所と浴室などで同時に使用しますと、湯量が少なくなったり、湯温が変化することがあります。 ●出湯停止後、すぐ再出湯したときは、熱かったり、冷めたかったりし湯温が安定するまで若干時間がかかります。	

日常点検・手入れのしかた

●いつでも安全・快適にご使用いただくため、日ごろの点検・手入れを行なってください。

点検・お手入れの際のご注意

●安全にお使いいただくために、点検・お手入れを必ず行なってください。
●お手入れは機器が冷えてから行なってください。
●フロントカバーを外したり、分解したりしないでください。

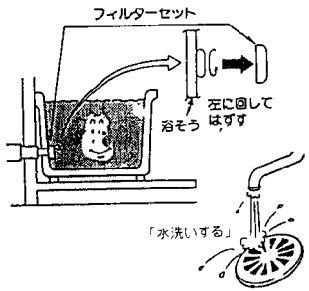
点　検

●機器および配管より水漏れはありませんか。
●運転中に機器から異常音が聞えませんか。
●機器の外観に異常は見られませんか。
●機器のまわりおよび排気部のそばに燃えやすいものはありませんか。
●オーバーフロー口より水がたれていませんか。

お手入れ

●機器やリモコンの表面の汚れがひどくお掃除されるときは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。洗剤およびシンナー・ベンジンなどではふかないでください。
〔注〕リモコンの内部には電気部品が入っていますので、なるべく水をかけないようにしてください。

●循環口
浴そうのお掃除をされるときはあわせて浴そう内のフィルターセットを外し掃除してください。



※なおフィルターの掃除をしたあとは必ず、もとのように取り付けてください。
●給湯せんの先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター(金網)を掃除してください。
〔注〕水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

故障かな？と思ったら

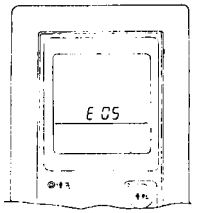
次のことを調べてください。

	症状	お調べいただきたいこと
	●運転ランプが点灯しない	●電源プラグがコンセントにしっかりはいっていますか ●停電していませんか
（給湯側）	●お湯が出ない ●燃焼表示（M）がでない ●使用中に消火した	●ガスせんが十分開いていますか ●給水元せんが十分開いていますか ●断水していませんか ●給湯せんが十分開いていますか
（給湯側）	●高温のお湯が出ない ●低温のお湯が出ない	●給湯せんが十分開いていますか ●湯温調節は適切ですか
（ふろ側）	●燃焼表示（M）がでない ●使用中に消火した	●ガスせんが十分開いていますか ●浴槽に水が十分入っていますか
（ふろ側）	●浴槽のお湯がぬるい ●浴槽のお湯があつい	●ふろ湯度調節は適切ですか

故障モードの表示をお調べください

この機器がもし異常や故障になったときは表示画面に下表の原因別表示をします。
サービスをご依頼されるときは表示記号をあわせてご連絡ください。なお60分以上連続給湯又は90分以上連続追い焚きすると、燃焼が停止し、故障モード「E05」「E0H」を表示します。この時は、いったん運転スイッチを切り、数秒待った後、再び運転スイッチを「入」にします。

表示例



表示記号	内容	対処
E01	給湯入水温度センサー系統の不具合	※
E02	給湯出湯温度センサー系統の不具合	※
E03	給湯側炎（燃焼）検出系統の不具合	※
E05	給湯60分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がでなければ正常です。
E06	給湯側炎（燃焼）検出系統の不具合	
E07	ファン回転検出系統の不具合（給湯）	※
E09	ふろ循環温度センサー系統の不具合	※
E0C	ふろ呼び水の不足	29ページの「ふろ側」①③④の操作をします。
E0E	ふろ側炎（燃焼）検出系統の不具合	※
E0F	ふろお湯張り系統の不具合	※
E0H	ふろ90分以上連続燃焼	運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして表示がでなければ正常です。
E0L	ふろ側炎（燃焼）検出系統の不具合	
E0P	ファン回転検出系統の不具合（ふろ）	※
E20 E21 E22	ふろお湯張り系統の不具合	※
E24	浴そうの排水栓忘れ	浴そうの排水栓を確認します。
E26	ふろお湯張り系統の不具合	※
U3H U3L U3P	リモコン系統の不具合	※

（ご注意）
※印又は不明な場合は販売店又は、最寄りの東京ガス事業所にご連絡ください。

次のような場合は故障ではありません

こんな場合	理由
給湯せんを絞りすぎて水になった	この機器は流水量が2.5ℓ/min以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。 給湯せんをもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違い、全く無害なものです。
寒い日排気部から白煙が出る	外気温が低い時には排気ガスの水蒸気が白煙となりますが故障ではありません。
冬期など寒いとき追い焚きのポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプの自動運転を行ないます。
蛇口を開いてもすぐお湯が出てこない	器具から蛇口までは、距離がありますので、お湯が出てくるまでには、少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの回転音がする	再使用時の点火をより早くするため約3分間は回転しています。
自動運転時途中で注湯が停止することがある	これは浴そう内の残り湯の検出を行なっているため、間欠運転の状態になっているためです。
運転終了後もしばらくポンプが回る	「たっぷり」「あったか」「ぬるめ」運転終了後、かくはんのためポンプが約30秒間回ります。
スイッチを「切」にしてもしばらくポンプが回る	運転スイッチ及び自動運転スイッチを「切」にしたとき、水抜き（機器内にあるタンク）を行なうためです。空気も少し出ます。
掃除後表示画面（液晶）が乱れる	リモコンをかわいた布で拭いた場合、液晶表示が乱れることがあります。この場合放置(30分以上)しておくと正常にもどります。
表示画面が0:00になっている	停電後、再通電すると表示画面の時計表示が0:00になります。 なお水位・湿度表示も変わり(初期状態)ますので、再度設定をしてください。
停電後自動お湯張りが通常より時間がかかる	停電後または電源プラグを抜き差しした時の第1回目の自動運転は器具の特性上時間がかかります。 2回目からは通常の時間で自動お湯張りができます。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するため30分毎に回ります。 故障ではありません。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときはお買い求めの販売店または、最寄りの東京ガスへご連絡ください。

アフターサービス

1 サービを依頼されるときは

- まず33ページの 故障かな？と思ったら を確認のうえ、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店または最寄りの東京ガスにご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけのときは、次のことをお知らせください。
  1. 氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印等）
  2. 品名…NR-816RF-RSA（機器コード741 3581）
     NR-824RF-RSA（〃 741 1582）
  3. 故障または異常内容（できるだけ詳しく）
  4. 訪問希望日
  5. 故障モード表示記号

2 転居される場合

ガスの種類および電源周波数が異なる地域へ転居される場合は部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガス種および電源周波数を確認のうえ最寄りの東京ガスまたは転居先のガス会社に相談し調整したうえでご使用ください。この場合、費用は保証期間中でも有料となります。
また転居先で設置工事をなさる場合は必ず専門の工事店に依頼してください。

3 保証について

- 取扱説明書の38ページが保証書になっています。
  必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理致します。

4 補修用性能部品の最低保有期間について

補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）最低保有期間は製造打切り後10年です。

5 アフターサービス等についてわからないとき

販売店または最寄りの東京ガス（裏表紙一覧表ご参照）にお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
  (1)ガスせんを閉じる。
  (2)給水元せんを閉じる。
  (3)電源プラグを抜く。
  (4)器具の水抜きを行なう。(水抜き方法は28ページを参照してください。)

取扱説明書	NR-816RF-RSA<GT-162AR> 741 358 12 13311 NR-824RF-RSA<GT-242AR> 741 158 12

仕　様

品名		NR-816RF-RSA	NR-824RF-RSA
種類	給湯方式	先止め式	
	設置・給排気方式	屋外用・強制排気式	
点火方式		放電点火式	
水圧	使用水圧	1kg/cm²以上	
	作動水圧	0.15kg/cm²	
外形寸法	本体	高さ570mm×幅580mm×奥行190mm	高さ570mm×幅692mm×奥行190mm
	ふろリモコン	高さ96mm×幅196mm×奥行22mm	
重量	本体	31kg	40kg
	ふろリモコン	0.4kg	
接続	ガス	15A(R 1/2)	20A(R 3/4)
	給水	15A(R 1/2)	20A(R 3/4)
	給湯	15A(R 1/2)	20A(R 3/4)
	ふろ追いだき用湯水	往き・戻り15A(PT1/2)	
電気関係	電源	AC100V 50Hz	
	消費電力	190W (凍結予防ヒータ154W)	215W (同 194W)
	電源コードの長さ	2m	
湯温制御方式		電子式ガス比例制御方式	
安全装置		立消え安全装置・空だき安全装置(ふろ)・残火安全装置(給湯)・過熱防止装置 過圧防止安全装置・誘導管保護装置・凍結予防ヒータ・漏電安全装置	
附属品		台所リモコン・浴室リモコン・取扱い説明書	
別売品		オプションリモコン・リモコンケーブル 風呂接続金具	

項目	ガスの種類	品名 NR-816RF-RSA 12A	13A	NR-824RF-RSA 12A	13A	単位
ガス消費量	給湯 最大	28400	30500	41900	45000	kcal/h
	給湯 最小	5600	6000	4700	4800	
	ふろがま	11200	12000	11200	12000	
	同時使用	39600	42500	51300	57000	
出湯量 (動水圧：1kg/cm²時)	水温+25℃ 最大	15.4	(16.5)	22.3	(24)	ℓ/min
	水温+25℃ 最小	2.8	3.0	2.4	2.5	
	水温+40℃ 最大	9.6	10.3	13.9	15	
	水温+40℃ 最小	—		—		

出湯量の（　）内の数値は相当当湯能力です。

風呂給湯器　保証書

型式名	GT-162AR GT-242AR
品名	NR-816RF-RSA NR-824RF-RSA

上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書は東京ガス供給区域内において都市ガス用としてご使用になる場合本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

(1) 保証期間は、お買い上げの日から2年間とし機器本体(リモコン含む)を対象とします。
(2) 万一故障の場合はお買い上げの店、もしくはもよりの東京ガスへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。
(3) サービス員が参上した時に本証書をお示しください。
(4) 保証期間中でありましても次の場合には有料修理といたします。
(イ) 取扱説明書によらないでご使用になり、故障した場合。
(ロ) お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷。
(ハ) 火災、天災、地変等による故障、その他不可抗力による故障。
(ニ) お買い上げの店、あるいは東京ガスに、ご連絡なしに改造された場合の故障。
(ホ) 機器に表示してある以外のガスでご使用のため改造された場合。ただし、当社部合の場合はのぞきます。
(ヘ) 本証書を紛失された場合。
(5) 無料修理やアフターサービス等について、ご不明の場合はお買い上げの店または、もよりの東京ガス支社・営業所にお問い合わせください。

お買上げ日		
販売店名		捺印
住所		
電話番号		

保証履行者　東京ガス株式会社　港区海岸1丁目5番20号・電話 03 (433) 2111

保証責任者　株式会社ノーリツ　神戸市中央区明石町32番地　電話078 (391) 3361

お客様へ
1. この保証書をお受取りになる時に販売年月日、販売店名、捺者印が正入してあることを確認してください。
2. 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保存してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては「アフターサービス」の項をご覧ください。
4. この保証書によって、お客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

※この機器の修理記録は機器本体の表面カバー裏に記録します。